

図書だより 第3号

令和8年6月19日 発行
兵庫県立飾磨工業高等学校 全日制 図書部

6月に入り蒸し暑い日が増えました。湿度の高い日は本当に体力を削がれます。体調管理をしっかりと熱中症などにも注意しましょう。また、本にとっても湿気は大敵です。借りた本は勿論、教科書なども濡れてヨレヨレにならないように気を付けましょう。そして、雨の日には家でゆっくり読書をしてみてはいかがでしょうか。



図書委員さんの おすすめ本



「羊と鋼の森」(宮下奈都)

あることをきっかけにピアノの調律師をめざすことになった少年の成長物語。「才能があるから生きていくんじゃない。そんなものあったって、なくなっても、生きていくんだ。あるのか、ないのか、わからない。そんなものにふりまわされるのはごめんだ。もっと確かなものを、この手で探り当てていくしかない。」才能がなくても努力し続けることや、そのものを好きであることは、とても素晴らしいと思える本です。

(2年 Kさん)

「あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。」(汐見夏衛)

今年の夏に公開される同名映画の原作小説です。

突然ですが、みなさんは、もし前世の記憶に愛する人がいたら、どうしますか？現世で別の恋愛をするか、前世で愛していた人を想い続けるか…。

「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」の主人公「百合」が現世でどのように生きていくのか。私が百合のような状況だったり、前世で愛していた人を探しても見つからなかったら、今世は生きることをやめてしまうと思います。

(1年 Yさん)

「ハリー・ポッターと謎のプリンス」(J.K.ローリング)

ある日、hogwarts魔法学校に転校性がやってきた。その名は、「エメラルダ」。みんなが驚く中、ハリーは彼女に興味を持った。エメラルダは魔法の才能が薄いと評判だったが、彼女には謎が多かった。

ある日、校舎の地下でハリーとエメラルダは何者かに襲われた。その時、エメラルダは強力な魔法を使い、襲撃者を撃退した。その後、エメラルダが姫であり、敵に追われてhogwartsに逃げて来たことが判明した。ハリーはエメラルダを守ることを誓い、共に戦うと決意を固めた。「謎のプリンス」とは誰なのか？「死の秘宝」に繋がっていく物語。

(2年 Kさん)

「アリバイ崩し承ります」(大山誠一郎)

祖父から受け継いだ時計店を営む「美谷時乃」が、捜査に行き詰った新米刑事の依頼を受け、鉄壁のアリバイを鮮やかに崩していく物語。

時乃の「時を戻すことができました。」という決め台詞で、次々とアリバイを崩していく謎解きが見事です。ミステリー短編集で読みやすく、いろいろ考えながら読めて、楽しめる作品です。

(1年 Aさん)

「真夜中の4分後」(コニー・パルムクイスト)

主人公のニコラスは病気で入院している母親を助けたいと思っている。そこで、時間を行き来できる列車が発着する駅(すなわち非現実の世界)へ向かった。母を失いたくないという思いで、運命を変えようとするが、思い通りには変えられなかった。この物語は、過去を変えることはできないという現実と直面しながら、それでも前に進むために少年がどのように立ち向かっていくのか、という物語である。

(3年 Tさん)